

指定管理者総合評価シート

1 施設の概要

施設名	豊岡市立竹野北前館	所在地	豊岡市竹野町竹野50番地の12
設置目的	竹野浜の自然環境、歴史的所産、地元産業等を活かし、都市との交流を図り、もって市の活性化に寄与するため		設置年月日
			1992年4月1日
選考方法	非公募	豊岡市公共施設再編計画における施設の方向性 第1期計画期間（2016年度～2025年度）	検討

2 指定管理者が行う業務等

指定管理者名	(株) 北前館	指定期間	2018年4月1日から2023年3月31日		
指定管理業務の内容	(1) 北前船に関する歴史資料の展示に関すること。 (2) ジオパークに関する資料の展示に関すること。 (3) 観光情報及び地域情報の提供に関すること。 (4) 都市との交流活動の支援に関すること。 (5) 竹野温泉の利活用に関すること。 (6) 北前館の施設を利用させること。 (7) 前各号に掲げるもののほか、北前館の目的を達成するために必要な事業		指定管理料(千円)	2018年度	9,145千円
				2019年度	9,230千円
				2020年度	9,315千円
				2021年度	9,100千円
				2022年度	9,100千円

3 総合評価

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
○	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記の判断理由や具体的内容)

北前館の各部門の利用者数は新型コロナウイルス感染症以前から毎年減少傾向にあり、それに伴い売上及び収益も減少している。
温泉・カヌー・駐車場等は夏の気候の影響が利用者数に大きく影響してしまうが、夏以外の部門(売店・展示ホール・自主事業)において誘客促進に勤め収益改善を図る努力が足らなかったと感じられた。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

指定管理者が運営することにより、市民サービスの向上、業務の効率化、経費節減などは社員の努力次第で成果が見込めると思う。
しかし、利用者の増加、収益向上などは社員により北前館が地域観光の中核施設となるような魅力発信をする運営が必要と思われる。それには、新たな発想を持つ社員の採用が望まれるが経営上困難と思われるため、現従業員の育成が必要と思われる。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	指定管理者制度による運用の見直しを検討する。若しくは検討中である。

(上記の判断理由や具体的内容)

(ア) 限られた指定管理料の中で、維持管理・運営を行っており、市直営よりも指定管理者制度を継続する方が、経費面で有利だと考える。
(イ) 事業計画書に即し、施設の目的に沿った事業がなされ、利用者へのサービス向上、施設の修繕及び点検の適切な維持管理等にも努めている。

(4) 指定管理者制度評価委員会の意見

指定管理者制度導入の効果があるとは言い難いが、引き続き同制度による管理運営が適当であると判断する。選定方法は、非公募とする。課題として、誘客促進のための情報発信などを怠らないこと、また、ホームページを早急に直すこと。

1～3(3)を所管課が記入する。